

主張

平成31年1月26日、白金台シエラトンホテル東京で保団連創立50周年記念レセプションが

開催された。午後7時から始まり、住江会長の保団連の歴史を振り返る挨拶があった。乾杯の音頭は第4代会長鮫島先生であった。国会議員、各医療団体の代表から挨拶があった。クラシック音楽の演奏が行われている中で先輩の先生方や各協会の役員、事務局長の方々と歓談できた。飲み物が豊富で料理もよかった。広い会場に約270人が参加し、午後9時まで盛大に行われた。

翌1月27日は午前9時30分から第2回保団連代議員会が麹町の都市センターホテルで開催された。会長挨拶では前日の会への参加のお礼とこれからの活発な討論を期待する挨拶があった。会務報告と予算の議事の

請願、市町村への取り組みへの発言、梅村代議員の「保険でより良い歯科医療を」三重連絡会結成への発言には期待すると

の執行部答弁があった。フロア討論で梅村代議員は消費税を10%増税阻

東海北陸厚生局との懇談の発言があり、重要であるとの執行部答弁があった。昼食休憩後、午後の討論は政策、地域医療の討論があった。次いで災害対策、公害、原発、組織、女性部、共済、非

対の発言があった。住江会長は討論のまとめで、本日の討論は保団連の今後の運動を勇気付けるものであった。多くの面で政府の方針を阻止撤回させ、何としても安倍政権を交代させなければならぬ、と述べた。

保団連創立50周年記念レセプション、

第2回代議員会を終えて

後、加盟団体表彰があり、ここ何年も三重協会は会員の増加がなく表彰を受けられなかったことが寂しかった。医療運動、歯科診療、消費税問題の発言が始まる。三重協会

止ではなく5%、3%に下げる運動が必要と発言した。執行部は個人的には賛成であるが、現実的には無理との答弁があった。診療報酬、社保審査指導監査、研究の発言があった。梅村代議員から

核平和について発言があった。宮崎代議員の女性部の名称変更の発言には、現状では女性部が適切とし、さらによい案があれば提案されたいとした。最後は沖繩の仲里代議員から辺野古基地反

それぞれ時代で国民の健康と医療を守ってきた。代議員会での討論を踏まえて運動方針が保団連から出される。この方針に従い各協会では強力な運動に取り組んで行かなければならない。